

西場工業 株式会社

障害のある方をその御家族とともにフォローを



社員の声



馬間 智さん
(入社:平成8年9月)

今の職場で定年まで頑張りたいです

・仕事内容

溶接作業補助、溶接後の製品の整形補正などを担当しています。常に他の社員とペアで業務に取り組んでいるため、困った時でも周りの方にフォローしていただいていることから、とても安心して仕事ができます。

・仕事に対する思い

障害のない社員とペアで溶接作業を行うため、片方がミスをするとうまくいきません。そのため、ペースが崩れないように気を付ける、溶接をする材料を間違えないように常に確認するなど、作業がスムーズに流れるように意識しながら従事しています。先輩方にアドバイスをいただいた際にはメモを取って業務後に復習し、今後に活かせるようにしています。また、会社で毎年旅行に行くのが楽しみの一つです。自分が頑張ったことを評価していただいている気がして、「頑張ろう」という気持ちになります。

・就職を考えている障害のある方へ

仕事をしていると、どうしても分からないことや、ミスをしてしまうことがあるかと思いますが、しかし、そこで諦めてしまうのではなく、ミスは自分を成長させてくれるステップとして捉え、めげずに頑張ることが大事だと思います。

社員の1日のスケジュール

障害のある社員4名のうち、知的障害のある風間さんの仕事の様子をご紹介します。

7:40 ● 出社

8:00 ● 作業開始

溶接加工の補助作業に入ります。作業ペースや材料の間違いに注意しながら取り組んでいます。

12:00 ● 昼食

食堂で他の社員と一緒に談笑しながら昼食をとりまします。

13:00 ● 作業再開

再度、溶接加工の補助作業をします。品物が変わる時は、治具や材料、手順を再確認します。

17:00 ● 退社

使った道具や身の回りの片付けをして、退社します。



■材料供給
溶接作業を行っている部署へ、指定された材料を供給します。



■溶接加工補助
溶接加工の補助作業として、加工用材料を治具に設置します。



■材料補充
加工用材料の置場は種類ごとに指定されており、不足している分を在庫から補充します。

雇用の際の取り組み

家族とのつながり

障害のある社員のことを一番理解しているのは御家族の皆さんです。しかし、就業中に障害のある社員が体調を崩してしまう、混乱して動けなくなってしまう場合などは、事業所がその社員をサポートしなければなりません。障害のある社員の病歴や正しい対処方法を認識するためにも、事業所と障害のある社員の御家族とのつながりが重要だと思います。



障害のある方ができる仕事を「創出」する

障害者雇用を検討する際、「任せる仕事が無い」と考える事業所も多いと思います。しかし、仕事が無いのであれば、「創出」すればよいのではないのでしょうか。自社にはどのような部署があり、どのような業務があるのかを見直し、障害のある方が得意とする「単純でくり返し行う業務」があるのではないかと考えるところから障害者雇用は始まるものだと思います。



雇用のポイント

「集中して業務を続けられるか」が重要です。覚えるのが早い・作業が早いなど、効率面については考慮していません。なぜなら、集中して業務ができれば、効率は後から付いてくると考えているからです。当社の場合、どの業務も立ち仕事であり、長時間集中して動き続けることが前提のため、集中力のある人を雇用したいと考えています。



「なんでもいいから」ではいけない

障害のある方には様々な特性があるため、特性に合った業務に取り組んでもらうことが大切だと思います。ただ雇用をただで、「なんでもいいからやらせておけ」ではいけません。障害のある方は業務を覚えればコツコツ続けることができるため、一から業務を覚えるまで指導をすることにより、立派な戦力として働いてもらうことができます。



事業内容

西場工業株式会社は、明治時代に織物業として、創業しました。産業の構造変革を乗り越え、現在では商品陳列棚などの設計から製造・出荷までの全工程を行っています。社内には鉄工事業部、自動車販売サービス部の2部門を構え、アメリカやメキシコへの海外進出も行うなど、果敢なグループ戦略を展開しています。



障害のある社員の業務内容

- ・溶接加工補助(加工用治具への材料設置)
- ・各作業場所への材料供給
- ・溶接後の製品の整形補正



障害者雇用を検討される事業所のみならずへ

障害のある方が働ける環境をつくるのが企業の責任です



製造責任者
多満井 正明さん

気付かせるように指導する

障害のある社員に仕事を教える際は、言葉だけでは伝わらないこともあるため、実際の業務をやってみせて、覚えてもらうようにしています。最初から全ての工程を教えるのではなく、本人の理解度に合わせて一つずつ手順をアドバイスしながら教えています。まず、障害のある社員にやらせてもらうことにより、「できなかったこと」が「できること」になる「気づき」を経験

するため、飽きずに、また、一度覚えた業務は忘れずに従事し続けることができているのではないかと思います。

一人一人に合った対応を

当社には障害のある社員用の作業マニュアルは存在しません。障害の特性は一人一人違うため、一律の対応では、うまくいかないからです。障害のある社員本人と話し合いの場を持ち、特性を見極め、その社員に合った仕事を創出し続けています。

事業所データ

設立 1953年(昭和28年)
常用労働者数 164人
代表者 代表取締役
西場 伸一
所在地 〒376-0013
群馬県桐生市
広沢町5-甲1274

TEL:0277-54-1196
URL:www.sunfield.ne.jp



会社概要

明治30年代に織物業として創業し、現在では鉄工事業部、自動車販売サービス部の2部門を展開しています。

障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 4人
うち重度障害のある社員数 0人

区分	身体	知的	精神
正社員			
契約社員			
パート			
アルバイト		4人	